

令和5年度 自己評価・施設関係者評価結果について

認定こども園青森ひかり

1. 園の教育・保育目標

認定こども園移行8年目。園の理念「子ども一人一人が輝く理想の場所であるために、地域及び保護者の子育てを支援し、子どもの生きる力の基礎を育むこと」を掲げている。新型コロナウイルス感染症流行から5年目、ようやくコロナ5類移行により、感染拡大防止対応（クラス単体活動・パーティション・分散・行事縮小）が解除となり、異年齢交流や活動でも、以前同様で実施できた。

数年前から「遊びこめる環境作り」に取り組んでいるが、3-5歳児クラスで個別の支援を要する子が増えてきているため、個のスペース（パーティションや1人机等）を確保しながら集団の中で、個別対応できるよう環境整備に努め、試行錯誤をしている状況である。また、従来の「一斉保育」では対応が難しくなっていることもあり、要所要所で活動の在り方や方法を省みながら、実施している。

「子ども主体の保育と行事の見直し」については、「サークルタイム」を実施し、子どもの声を聞き、クラスの遊びのブームをもとに行事に発展させ、保育の継続性につなげられた。特に年長クラスでは子ども同士で話し合いを重ね、参観日・夏祭り・運動会・お遊戯会の行事内容を考え、お遊戯会では劇作りに発展させ、意欲・達成感を高め、自信につなげることができた。

当園「子ども像」として、以下の3項目を目標に挙げている。

1. なかよく…集団生活の中で子ども自身が友達と認め合い助け合う『思いやり』の心を持つ子
2. たのしむ…活動や遊びの中で育む『意欲を持つ』子
3. げんきな子ども…健やかで丈夫な体作りにつながる『生きる力』を持つ子

2. 重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した施設評価の具体的な目標や計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することで、保育者自らが客観的に自園を見る目を養い、環境全般の改善、保育内容や保育方法の改善に主体的にとりこんでいくことを目標とする。また、施設関係者評価を受けて、課題を確認し、その改善に取り組む。

＜評価＞

5…十分達成されている 4…達成されている
3…どちらでもない
2…取り組まれているが、成果が十分ではない
1…取組が不十分 コメントなども可

3. 評価項目の達成及び取り組み状況と評価

評価項目	取組内容	取組状況	評価
教育課程・指導	遊びこめる環境作り・子ども主体の保育と行事の見直しに取り組む。 個別配慮が必要な園児の専門知識・対応を学び、実施する。	遊びこめる環境作り・主体的保育の在り方や環境設定等について理解を深め、実践してきた。個別配慮が必要な園児が増えており、環境作り・保育活動の在り方についても、試行錯誤をしながら実施している。主体的保育については、特に年長クラスでは子ども同士で話し合いを重ね、参観日・夏祭り・運動会の行事内容を考え、お遊戯会では話し合いから劇作りに発展させ、意欲・達成感を高め、自信につなげることができた。 今後、個別配慮を要する子の専門知識・対応を学び、保護者・関係部署との連携を図りながら、保育活動に役立てていきたい。	4
保健管理	学校保健計画をもとに感染症発生予防や対応を含め、保護者との連携や園児の健康保持や増進に努める。	感染症に関しては一気に園内で流行することはなかったが、上半期のお盆前後に乳児の感染症が多く、下半期は12月に発熱・罹患者が多い傾向だった。嘔吐物処理方法を見直し強化したことで、市内で感染性胃腸炎の流行期も罹患者が最小限に抑えられるなど一定の感染予防につながっている。 また熱性けいれんの対応整備（緊急時の対応・保護者との確認）を行い、職員間で共有。肥満検査の実施では、栄養士計算のカウプ指数をもとに保護者と面談を持つ等、確認を行った。	4

<p>安全管理</p>	<p>学校安全計画をもとに、各活動の安全確保の取組を行い、職員の安全管理の意識を強化する。 ヒヤリハットの事例を把握し職員共有の上、発生防止・予防につなげる。</p>	<p>安全係の上部組織として安全委員を配置し4年目。緊急時の対応訓練やAED心肺蘇生等、定期的な訓練を行っている。子どものアレルギーや痙攣・脱臼等、緊急対応が必要な部分を一覧にし、どの職員でも対応できるよう準備している。 ヒヤリハットはICTアプリ内で管理し、定期的な分析と改善策の周知機会を持っている。特に起きやすい曜日時間帯場所・園児の割出しとマップ表示で、職員の情報共有に活かしている。 園庭増設に伴い、防犯カメラの増台・保育室死角部分にもカメラを増台し、不審者対策・見守り・けが等の検証・保護者説明の提示に活用している。職員の共通理解と体制を確認しながら、安全管理の意識を強化することができた。</p>	<p>4</p>
<p>災害対策</p>	<p>災害発生時の安全確保や通報訓練・避難・引き渡しまでの方法や手段を共有し、訓練を行う。 防災マニュアルや危機管理マニュアルの修正をする。</p>	<p>保護者の引き渡し訓練を実施。保護者との連携体制や引き渡し方法を確認することができた。 筒井地区の地域との連携を図り、筒井中学校での地域の防災訓練に園児と参加することができた。 BCP大枠は完成し、職員の内部研修を行ったが、防災マニュアルとの整合性を図り、細部の調整・職員周知の機会をさらに回数を重ねて実施していきたい。</p>	<p>4</p>
<p>特別支援教育</p>	<p>障害児保育の専門的知識・対応を学び、家庭・関係機関との連携を図る。 集団の中での個別対応の方法や環境整備を進める。</p>	<p>個別の配慮が必要な園児が増えているため、外部研修の他、幼児教育アドバイザー・特別支援学校・療育の支援施設と連携を図り、発達障害の知識や専門的な対応を学ぶことができた。 個のスペース（パーテーションや1人机等）を確保し、物品（手指訓練・精神安定・感覚おもちゃ・伝達表示物品等）の購入し、集団の中で、個別対応できるよう環境整備に努めた。</p>	<p>4</p>
<p>組織運営</p>	<p>労働環境の改善と働き方改革の継続実施 職員の定着ケアの模索</p>	<p>職員のリスクリングに目を向けられるよう、外部講師によるコミュニケーションスキル講習と各自のジョブシートをもとに「キャリアコンサルティング面談」を実施した。今後の目標や資格、今の悩みなど、各自の振り返りと有意義な面談になったと好評だった。 働きやすい環境作りのため、各種休暇の他、定休を最低月3日に増やした。他、職員の家庭環境や持病等の状況により、本人と調整しながら働きやすい勤務時間を柔軟に対応実施してきた。 職員の定着ケアについては、職員間のつながりを大事にしたものやメンタルケアにつながる事を模索したい。</p>	<p>4</p>
<p>研修 (資質向上の取り組み)</p>	<p>教育・保育の質向上のために、園内研修の実施や園外研修にも積極的に参加する。</p>	<p>新卒者複数名と途中入職者がいたため、新任研・園内研修で「求める人材・行動指針・ハラスメント研修」を重点的に実施した。内部研修では「子どもの人権・虐待・不適切保育・ふさわしくない言葉」に関する園内研修実施。他園の公開保育に関する研修や保育の課題について話合う機会を多く持った。今後も保育の質向上について、取り組みを継続し改善に努めていきたい。</p>	<p>4</p>
<p>小学校 接続</p>	<p>小学校へのスムーズな接続が図れるような工夫や取り組みを積極的に行う。幼保小連携研修に参加する。</p>	<p>かねてより交流していた筒井小学校との接続も「架け橋プログラム」実施が追い風となり、近隣園・小学校との話し合いの上で、複数回交流を図ることができた。(学校見学・学習発表会総練習見学・2年生活科での交流) 必要に応じ、卒園児の丁寧な説明や接続が行えるよう・顔の見える関係作りに努めていきたい。 幼保小接続を見据えた5歳児のアプローチカリキュラムを策定し、秋から半年をかけて、無理なく小学校での生活につなげられるよう日々活動を実践している。</p>	<p>5</p>

教育・保育目標 施設評価	教育・保育目標の設定と自己評価の実施状況、施設関係者評価の実施状況、施設に対する保護者の意見・要望等の状況	定期的な自己評価を踏まえ、アプリを使用し、園長との面談を行った。各自の状況や自分で立てた目標をもとに年2回面談し、目標を意識しながら業務にあたるなど意識付けすることができた。 保護者には、各行事ごとのアンケートの他、父母の会と卒園保護者向けアンケートを行い、意見要望の収集と反省に活かすことができた。	4
情報提供	アプリを利用したドキュメンテーション等で保護者に保育活動の状況を伝える。 ホームページを活用するなど、広く周知する工夫をおこなう	保護者へは ICT を活用した「保育ドキュメンテーション」で日々の活動を可視化している。 また、ホームページを利用し、園の概要や行事、活動の内容等を公開している。外部発信用の園情報の他に、職員採用ページなども加え、園での情報提供の充実を図るようにした。 HP ブログで、園だよりと連動させ、行事や活動の発信をこまめに行ってきた。外部への窓口として紹介できる良い機会となっている。	4
保護者・地域住民との連携	施設運営への保護者、地域住民の参画及び協力の状況。地域住民から寄せられた具体的な意見や要望の把握	コロナ5 類移行となりコロナ前の送迎スタイルに戻した。行事は「ふれあい」を重視した活動を心掛け、制限のない行事实施で、特にクラス懇談試食会では、保護者同士の交流を含め、好評を得ていた。 奥野地区で行われる地域高齢者の会「心の縁側・はまなす会」での交流は、地域老人会交流（筒井・奥野）に参加し、ふれあい遊びや遊戯披露などで交流を深め喜ばれた。 筒井中学校区で防災祭りに参加し、筒井中学校への避難移動体験をおこなうことができた。 養成校の実習生や高校生インターンシップの受け入れを行った。	4
子育て支援	園庭開放を行い、0～2 歳児クラスと一緒に保育体験・行事交流をおこなう。 青森市の地区別子育て広場の職員派遣の実施	5-12月の予定通り19回全日実施した。計71組が参加。園内外で、季節に応じた遊びや体験を提供した。菜園での収穫体験や外での水遊び・栄養士の離乳食講話は、保護者の関心度が高く参加者からも好評だった。今後は、保護者同士で話す機会も多く持つようにしたい。 行事交流は「運動会」未就園競技での参加のみとなった。次年度は園内劇団公演・夏祭りを加え、従来の交流に戻したい。 青森市で行っている地区別ひろば「C地区子育てひろば」に職員2名を派遣し、地域の子育て家庭への支援をおこなった。	4
預かり保育	1号認定児の預かり保育時間・料金など充実を図る。認定変更の相談に乗り、子育て支援に努める。	1号認定児の預かり保育時間・料金など充実を図っている。2歳児クラスの満3歳児1号認定への移行の希望者が多く、夏以降、1号認定希望の相談に乗ったり、移行の対応を行い、支援につなげている。	5
教育・保育環境整備	環境整備	緊急環境整備事業で、遊戯室の反響音改善工事をおこなった。防犯カメラすでに園内外に複数台設置しているが、保育室内の四角となる部分にカメラを増設。不審者対策の一環と見守り、また事故等検証・伝達のために使用している。 主体的保育実施のため、保育環境に棚を設置したり子どもの導線を考え、おもちゃの配置を変えるなど、発達に合わせた環境設定を模索している。	4
食育	菜園活動・調理体験・栄養士による食育指導を通じ、食への関心を深める。 保護者が給食を試食する機会を持ち、子育ての支援につなげる。	菜園活動（苗植え・水やり・収穫）から調理体験につなげていることで、野菜や食材への興味関心が広がり、子ども達の好き嫌いが減り、野菜を積極的に摂る姿が見られている。 年3回、栄養士による食育指導を行い、食事のマナーや基本的な習慣、自然への知識も身につくようになった。	4

4. 施設関係者評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
4.0	コロナから以前の活動・園行事の実施が可能となり、状況が戻りつつある。よりよい保育の実現に向けて保育者・職員が施設関係者評価の趣旨を理解し、振り返りと改善努力に繋げることができるよう今後も自己点検・自己評価に取り組んでいきたい。

5. 今後、取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
・ 保育環境作り ・ 子ども主体の行事内容の見直し ・ 障害児保育の知識対応を学ぶ	【1】 遊びこめる保育環境作り。 【2】 「子ども主体の保育」をもとにした行事の見直しと実施。 【3】 障害児保育の専門的知識・対応を学ぶ。

認定こども園青森ひかり 令和5年度 施設関係者評価 結果

《施設関係者評価項目》 5：とてもよい 4：よい 3：ふつう 2：あまりよくない 1：改善が必要

評価期間 令和6年3月11日～3月29日
 評価者 父母の会代表者6名・5歳児保護者15名
 評価方法 アンケート用紙記入、対面で協議 評価は平均点とした

		評価項目	評価
1	概要	園の理念、教育保育目標の周知	4.4
2		入園説明会や入園の際の説明や手続きについての対応	4.6
3	環境整備	園舎や施設設備（保育室内・手洗い場・トイレ等）	4.5
4		園庭・菜園について	4.5
6		遊具・おもちゃ・絵本の整備について	4.5
7	保健安全管理	園舎や施設設備の安全管理について	4.6
8		避難訓練等による、安全教育の実施	4.6
9		日常の健康観察や感染症の情報提供・取組について	4.6
10		怪我や体調不良時の対処	4.6
11	職員	職員の子どもに対する言葉使い	4.8
13		職員のチームワーク・雰囲気	4.6
15		職員の印象や対応（挨拶、電話対応など）	4.5
17		先生の保育技術(子どもへの対応や取組みのやり方など)	4.8
18		子ども同士のトラブルが起こった時の対処	4.8
19	活動面	行事について	4.6
20		園外保育やクッキング等の体験活動	4.6
21		主体的保育の取り組み	4.5
22		講師等の教室(英語、スイミング、絵画など)	4.6
23		菜園活動	4.6
24	給食等	給食の献立内容や量、素材を生かす薄味について	4.6
25		手作りおやつと内容について	4.6
26		離乳食の対応	4.5
27		食物アレルギーの対応	4.5
28	保護者支援	延長保育・一時預かりの実施	4.6
29		園と保護者のコミュニケーション(送迎時、連絡帳など)	4.6
30		年2回のクラス懇談会や二者面談	4.4
31		園だより・クラス便りでの園に関する情報提供の実施	4.6
32		コドモンアプリの活用 (ドキュメンテーション・一斉配信・写真販売・欠席お迎え申請)	4.6
33		献立レシピの配布・給食試食の実施	4.6
34		意見・相談への園の対応	4.6
35		地域の親子向けの園庭開放・子育て支援活動について	4.5
36	諸費用	諸費用①（園で徴収する給食代）	4.5
37		諸費用②（個人負担の教材費等）の量・金額	4.4
38		延長保育・1号認定の時間や費用、おやつなどについて	4.5

認定こども園青森ひかり 令和5年度施設関係者評価 結果

評価期間 令和6年3月11日～3月29日

評価者 父母の会代表者6名・5歳児保護者15名

評価方法 アンケート用紙記入、対面で協議

評価内容

1. 活動の取り組みの中で、気づいた点や意見

(1) 子どもの姿について

<子どもの姿>

- ・友だちができて、毎日楽しく通園できた。(2人)
- ・子どもが変わった。思いやりが持て、明るく優しくなった事が嬉しい。
- ・参観日には子どもののびのびぶりに咀然としたこともある(笑)、安心して楽しく過ごせていることがとても嬉しかった。
- ・こども園に行きたくないと言う事がほとんどなかった。子どもにとって、とても楽しく過ごせる場所だったからだと思う。迎えに行くと、楽しそうに遊ぶ姿を見る事ができ、まだ帰りたくない・早くお迎えに来ないで!!!と言われた事もあった。
- ・この1年間でできるようになったことも増え、たくさんの思い出ができた。
- ・先生や同じ組の子どもたちが優しく、温かい雰囲気の中で過ごせた。人見知りで恥ずかしがりやの子だったが、毎日楽しく通うことができた。

(2) 職員対応について

<職員対応等>

- ・少人数のクラスで温かい雰囲気の中で指導していただいた。担任の先生だけでなく、園全体、全ての先生に関わって貰い、複数の目で見ていただくことができ、閉鎖的ではないところが良かった。
- ・暖かく見守ってくれる先生方のおかげで、子どもも毎日楽しく登園することができた。子どもの姿に私達親も安心してお願いすることができた。
- ・親身に子供たちに接し、たくさんのことを経験させて頂いた先生方に感謝以外の言葉が思いつかない程、感謝している。(2人)
- ・先生が息子をよくみて、理解し、子供の気持ちに寄り添ってくれたので、安心して預ける事ができた。
- ・先生に何でも相談しやすく、親身に話を聞いて貰い、本当にこの園に入ることができて良かった。
- ・先生方の目が行き届いていて安心できた。子どものペースに合わせてもらえ、とても柔軟に対応してもらった。
- ・子ども同士のトラブル時での先生の対応が親身でよかった。
- ・先生方が子供達が楽しみ、いろんな事を学べる環境を作ってくれているからこそと思う。子どもが楽しんで通える園に入園できてよかった。
- ・上の子も世話になったので、当時から知っている先生方もいて安心感があり、悩みや相談なども話しやすかった。
- ・先生方が熱心に指導し、いつも温かく見守ってくれたお陰で子どもの心も身体も大きく成長し、楽しく過ごすことができた。たくさんの良い思い出を作ることができた。
- ・おむつがなかなか外せなかった時や言葉の発達が気がかりだった事を個人面談して頂き(年間予定にない面談)、お迎えの度に細く出来事などを教えて貰えた。1人では不安で、のりこえることができなかったと思う。本当に感謝している。
- ・どの先生方も子どもの名前を覚えていて、話かけてくれて子どもが嬉しそうにしていた。
- ・先生方はとても優しく、親身になって話を聞いてくれる。
- ・子どもにたくさんの愛情をそそいでくれた。青森ひかりに通えてすごく楽しかった。
- ・担任の先生が子どもの様子をよく見てくれ、声を掛けたり、様子を教えてくれるのがありがたかった。
- ・子どもにたくさん愛情をかけて接してくれ有難かった。子どもが園で過ごした日々は親にとっても大切な宝物となった。どんな時でも笑顔で、温かく接して下さった先生方に、親子共々たくさん助けられていい感謝している。
- ・先生方がとても協力的で穏やかな方ばかりなこと。

- ・家族以外にも自分に愛情をそそいでくれる存在が社会にはいるということをお子に伝えていただき有難い。自分の成長を先生方が認めたりほめたりしてくれることが、とてもよい影響を与えてくれると思う。今後はそれだけではなく「自分で自分の事を認める力」をつけてほしい（自己承認のベクトルを他人からだけでなく、自分で自分に向けるようにしてほしい）

(3) 行事・活動について

<全般的に>

- ・コロナ禍でも、できる限り行事をしようと努力しようとしてくれ、我が子の成長を感じることができ嬉しかった。
- ・どの行事も楽しく、毎日のこども園生活がとても充実していた。
- ・季節を感じる行事が多くてよい。
- ・運動会、お遊戯会等の行事が素晴らしかった。
- ・お泊まり保育や親子遠足、お遊戯会等、コロナがある程度おさまり、通常通りの活動を一緒に楽しむことができてよかった。
- ・親子遠足や夏まつり等、保護者参加の園行事が多くあり、親子で楽しく過ごせる機会をたくさん作ってもらえてありがたかった。良い思い出になった。
- ・美味しい給食や英語・絵画・スイミング等の教室その他諸活動が充実し色々な経験をする事ができた。
- ・1年を通し、外での活動が多く体を動かす機会が多かった。

<お遊戯会>

- ・ひまわり組のお遊戯会。歌や合奏、ダンスなど、色々なことに挑戦させてくれたのがありがたかった。劇も自分達でシナリオを考えていたのが素敵だった。
- ・さくら組からひまわり組まで全てのお遊戯会で、演目も衣装もとても素敵だった。毎年とても楽しみにしていたので、見られなくなるのが寂しい。
- ・1人1人が主人公のお遊戯会はとても良かった。
- ・発表会での毎年の成長にいつも感動。
- ・おゆうぎ会の衣装・踊りなどもとても可愛くて、良い思い出ができた。(2人)

<運動会>

- ・運動会が印象に残っている。子どもの成長を感じ、子どもだけでなくクラスみんなの頑張りを応援したくなるほど、手に汗握った。

<お泊り保育>

- ・お泊り保育で、家族と離れて外泊する娘を心配した。身の回りの事を自分でやってみた事により、自分1人でもできるという自信につながったのか、迎えに行った時に元気な姿を見てほっとしたのと、娘が少しだけお姉さんになったように見えた。
- ・お泊り保育では お友達や先生方と一緒に過ごした内容を沢山教えてくれ、お迎えに行った時の皆の達成感・あふれる笑顔がとても素敵だった。
- ・親も子もドキドキソワソワしていたが、翌日の一つ成長し自信に満ちあふれた様子で笑顔は忘れられない。
- ・おゆうぎ会、運動会、遠足などたくさんの行事があったが、特にお泊り保育では、子ども親も一回り成長できた。大好きなお友達と先生とすごせた1日はずっと忘れないと思う。
- ・お泊り保育での成長した姿

<参観日>

- ・ひまわり組最後の参観日。園でがんばったことやできるようになったことを発表する姿が心に響いた。

<小学校連携・地域交流>

- ・先生・友達だけでなく、小学校交流会や地域老人会交流等の経験を通して社会性・他者との関わり方を学ぶことができた。

<保育参加>

- ・保護者の保育体験と一緒に散歩に出かけたり、絵本を読んだりして貴重な経験をさせていただいた。

＜絵画指導・英語教室・スイミング＞

- ・クッキングや絵画指導等の活動の日は、とても楽しみにしていた。
- ・絵画指導により、いつも素敵な作品を作れるようになった。
- ・園長先生の絵画指導が本格的でとてもいいと思う。自分が絵画に苦手意識があるので自宅ではほとんど図画や工作を見てあげられなかったが、絵画指導で描いてきた作品はとても素敵で自宅で飾っている。
- ・スイミングや英語教室など 習い事をやるか迷っているものに関して、園で取り入れて貰えて非常にありがたかった。リトミックなども興味があった。
- ・英語やスイミングなど家ではできないことを学べた。
- ・絵画や工作での作品がよい。

（４）食育・給食について

＜菜園活動＞

- ・菜園で野菜のお世話や収穫をさせてもらえた事が印象的。収穫野菜でのクッキング体験など、すばらしい体験をすることができた。
- ・菜園活動が素晴らしい。自宅でも少しは野菜を育てたり、触れたりしているが、種まきから収穫まで、友達と一緒に世話しているのが微笑ましく、収穫時の笑顔がとても輝いていた。
- ・自分達で野菜を育て、収穫し、クッキングして実際に食べる体験は子どもの野菜嫌い克服にもつながり、とても良かった。

＜アレルギー対応・給食・おやつ＞

- ・手づくりのおやつがとても良かった。
- ・野菜を使ったおやつがとてもありがたかった。
- ・給食がいつもおいしそうで 行事食が素晴らしい。
- ・給食・手作りおやつ。子どもがおいしいと言っていた。食事面について家庭で疎かになることが多かったので、おいしくて体にいいものを食べさせて下さり助かった。

（５）保護者支援・子育ての支援

＜ICT アプリの使用＞

- ・ICT アプリのデイリーを通して日々の活動を写真付きで知らせてくれるので、様子が分かりやすかった。家でも園の出来事を話題にしやすく、子どもとの会話を楽しむことができた。
- ・写真を通して子どもの楽しい、嬉しい気持ちが伝わってきました。
- ・アプリで毎日の様子を写真で見て、園での様子が詳しく知ることができた。（2名）

＜子育て支援＞

- ・園庭開放参加した時、先生に声を掛けてもらい、入園した。遠方からの途中入園で馴染めるか不安を感じていたが、先生方が優しく丁寧に対応してくれたおかげで、子どももすぐに園に慣れたのを覚えている。子どもが元気にすくすくと成長できたのは先生方のおかげです。青森ひかりに入園して本当に良かった。

（６）保健衛生・安全管理

＜感染症対策＞

- ・5年中4年間がコロナ禍だったが、感染症対策がとてもしっかりしていた。アプリを通しての情報共有も迅速、適切で助かった。
- ・コロナ期間が長かったが、対応や周知が丁寧で分かりやすく、子ども達もストレスを感じる部分も多い中、出来る範囲で最大限まで楽しく保育していただいた。
- ・感染症対策や情報提供もしっかりされていて、病気が大きく広がることが少なかった。
- ・兄の時に他園に入園していた時は毎月のように風邪をひいていたが、青森ひかりに入園して風邪をひかなくなった。下の子どもほとんど風邪をひかずに過ごした。衛生面や感染症への対応がとても良い。

＜安全管理・避難訓練＞

- ・日頃から避難訓練、安全管理がとてもしっかりしているので安心して通わせることができた。
- ・1回の避難訓練など、安全教育をよくしてくれていたと思う。

(7) その他

<駐車場>

- ・ 駐車場が十分に用意されている

<見学対応>

- ・ 第一子で、何もわからないままの育児、入園で不安でいっぱいだったが、見学させて頂き、私も夫もぜひ入園させたいと思った。

<初めて保育>

- ・ はじめての登園で、時間をかけて慣らし保育をしてくれたので親として安心した。一人でお昼寝ができたと聞いて驚いたのを今でも覚えている。

<その他>

- ・ 先生方の負担が減ればいいなと思う。見えない所で色々な仕事があると思うし、子どもも保護者のニーズも時代と共に多様化していると思うので、行事など簡略化できるものはして、その分ご家庭やご自身の時間を充実させて、心穏やかにお仕事をしていただければ保護者としても嬉しい